



## 営業職場ジョブローテーション意見交換会開催!

JR東日本輸送サービス労働組合  
新宿支部

## ◆ 懇憑のあり方について。

- 懇憑では「成長が必要」と言われ、受け入れ先の面談では「運転職場にもどります」と言うと「そうですね、そうなりますよね」と言われる。整合性が合わない。
- 会社から担務の話しを聞く前に、当該職場の知り合いから担務を聞かされた。何故すでに決まっている事を話さないのか。会社の丁寧な懇憑は形だけなのが露呈している。
- コミュニケーション取れていない。懇憑の前だけ擦り寄る。意見言っても聞くだけ。異動ありきの強制配置転換。
- 異動先が決まった後に、どの様な職場か聞いても誰も何も答えられない。自分で調べた。「成長を！」と言いながら、何を成長させるのか。どこか丁寧な懇憑なのか呆れている。
- 懇憑でジョブローテーションの主旨の「成長を！」も言われなかった。言われたのは「席を空けてくれ」これが本音かと思った。懇憑の話しを「誰かにしたか?」と聞かれ「話しました」と答えると「首都圏本部が困るから辞めてくれ」人事は水物だから言わないでというが、会社の都合なのが分かる。
- 区長が赴任して1年半。会話の4回目で懇憑の話し。普段的なコミュニケーション皆無。懇憑を「断る」と答えたら「断るとか無いから」と言われた。家庭の事情や体調含めて言ってくれば嘘。
- 副長に「駅長になれるから」と言われ、40 後半でどうやってなれないだろ。侮辱以外の何者でも無い。
- 1 回目の懇憑で「乗務員で他支社のある職場」と話しがされ「家が近くなっていいでしょ」と言っていたが、駅への強制配置転換となった。区長に乗務員での話しをしていた事を問いただしたが「言っていない」の一辺倒。平気で嘘をつく。会社の本質が見える。
- 「今回の施策で希望が叶う人は少ない」と言われた。納得できないし、許せなかった。簡苦を出したのは「同じ思い」を他の方にさせたくないから。
- 「あなたには駅を考えている」「全体のバランスを見て配属を考えている」と言われた。適性検査を聞いたが「駅で運適は必要ない、受けられない」と言われた。配属後、駅長に聞いたら「運適は受けられる」と言われた。区長に給料について聞いたが「手当などないから給料は下がる」「休勤すればいい」と言われた。